

## 中山主将コメント

東洋大学戦では、ディフェンスでは「1対1で必ず止める」、アタックでは「早いセットからテンポをつける」の2点をテーマとした。

チーム全体テーマを意識することはできたが、ディフェンスにおいてはブレイクダウンの弱さ、アタックでは早いセットが出来ずテンポを上げることができずにいるのが課題となった。また、前半敵陣ゴール前でトライできずに相手ボールとなってしまったところがチームにとって痛かった。

今後修正すべき1番のポイントはブレイクダウンで勝つこと。練習においてもブレイクダウンで勝つために必要な運動量を増やしていこうと考える。